

イヌスギナ

Equisetum palustre L.

トクサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育環境が減少し、個体数が激減している。(現況:R-)

形態

地上茎は緑色で輪状に規則正しく枝を出すがかときには枝を出さないものもある。鞘の先の歯片は縁に透明な膜質があるがのち褐色から黒色になる。茎は先が伸びるが分枝しない。胞子のう穂は茎の先端につく。スギナの品種のミモテスギナに似ているが、本種には地下茎に細毛がないので区別できる。

国内分布

北海道、本州、四国、九州。

県内分布

口能登区、加賀中央区。

生態など

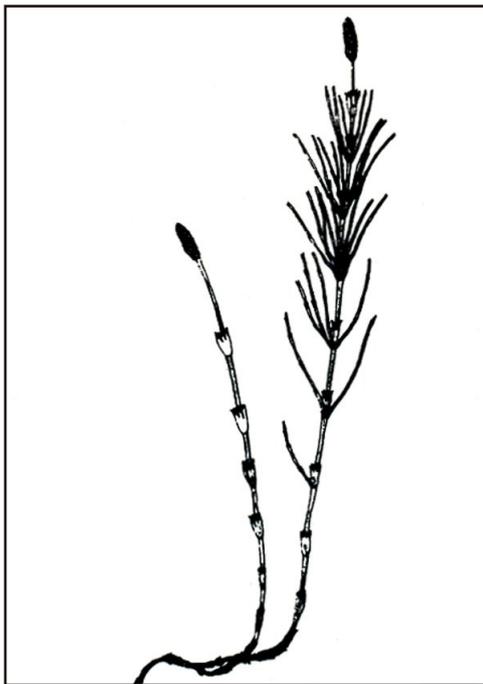
夏緑性の多年生シダ。地下茎をのばして節から根を出す。地中植物で繁殖は根茎と胞子による。胞子は初夏に熟し始め、風で散布する。

生育環境

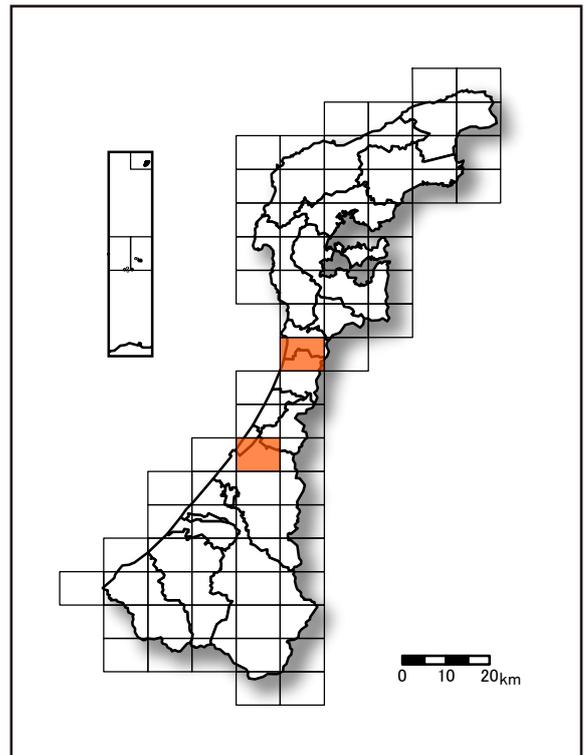
水田畦畔、休耕田など日当たりのよい湿地に生育する。

危険要因

土地造成、道路工事、自然遷移。



小牧（1987）より引用



県内の分布